

盛岡仙北剣道スポーツ少年団結成10周年記念大会

審判注意事項

試合規則

全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則および細則」に基づいて行う。また、「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」を適用する。

試合時間

全部門ともに2分間、3本勝負とする。時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。

リーグ戦での順位決定方法

次の計算式で「勝ち点」を計算する。チームの勝ち3点、引き分け1点、負け0点

「勝ち点」が多い方を上位とする。

「勝ち点」が同点の場合は、チームの「総勝者数」の多い方を上位とする。

「勝ち点」「総勝者数」が同点の場合は、チームの「総取得本数」の多い方を上位とする。

それでもなお同点の場合は、代表者戦によって勝敗を決する。

代表者戦は2分間、1本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は、2分区分切りで延長戦を行う。この場合の延長戦は2回まで（合計6分間）。それでも勝敗が決しない場合は代表者戦を行った選手同士のじゃんけんで勝敗を決する。（次のケースは要項には掲載していませんでしたが）同点同本数が3チームとなった場合は各チームの代表者にてじゃんけんを行って順位を決定する。

トーナメント戦での順位決定方法

勝者数で勝敗を決する。同勝者数の場合は取得本数、同本数の場合は、代表者戦を行う。代表者戦は2分間1本勝負。時間内に勝敗が決しない場合は2分区分切りの延長戦を行い、延長2回毎に休憩をいれる。1回目の休憩は面をつけたまま試合場内で1分間の休憩とする。2回目の休憩は一旦選手控え場所に戻り面を外し水分補給を行う。休憩時間は2分間とする。延長戦を再開後は上記の繰り返しとする。勝敗が決するまで延長戦を行う。

延長戦が長引き、熱中症の心配が出てくる場合は救護医師と相談の上、勝敗方法を大会本部が該当会場の審判主任に指示する。

反則について

反則は通常通りとする。

場外反則に関連して次のことに留意すること。試合場は9メートル四方で狭いことから、ライン際でもみ合いとなった場合は即座にやめをかけて中央に戻すようにする。

新型コロナウイルスが収束するまでの暫定的な試合審判法に関連して次の事に留意すること。試合者同士のつばぜり合いを解消するための「分かれ」は積極的に行う。分かれ際に間合いを切らないケースについては、選手がわかっていないと想定して、方法を説明し「注意」を行う。注意の後も再三繰り返すようであれば、故意に行っているものとみなし反則を適用する。

リーグ戦、トーナメント戦の審判数

リーグ戦は二審（主審1名、副審1名）で行う。トーナメント戦から三審（主審1名、副審2名）。割り当て、ローテーションは会場毎に審判主任が決定する。自身が監督・指導を行っているチームの審判は行わない。その際のやりくりについても審判主任に一任する。

試合の開始と決勝審判

第1試合のチームは立礼の位置で整列、正面の礼は本部で合図し一斉に行う。その後は各試合場にて試合を進めること。試合開始の合図は行わない。

決勝戦の審判は指名審判とし、本部が決定し放送にて指名する。

服装

白半そでシャツ、グレー系ズボン、上着とネクタイは不要（クールビズスタイル）

審判時のマスクは着用しない。審判時以外のマスク着用は個人の判断とする。

その他（集合時間や昼食の連絡）

審判受付を開場時（8時30分予定）～10時の間、大道場1階の玄関を入ったところで行います。

帯同審判員（各団体所属の審判協力者）は、選手と同じ時間帯に会場入りされると思いますので、選手と一緒に2階玄関から入場し、入場後会場内で1階に移動し受付を行ってください。選手とは別に1階玄関から入場いただいても構いません。

選任審判員（盛岡剣道協会、滝沢市剣道協会に依頼）は、10時までにご来場ください。来場の際は1階玄関より入場し受付を済ませてください。

当初審判員の弁当は用意しないとしていましたが、変更します。審判員51人分のお弁当を用意することにしました。受付にてお弁当引換券を受け取ってください。

申し訳ありませんが、帯同審判員の謝礼を用意できませんでした。ご了承ください。専任審判員には薄謝を用意させていただきます。

以上